

# 1ねんせいのがくしゅう(4がつ)No.2

南台小1年 4月13日

先週末、学校のホームページに国語の学習について掲載しました。「1ねんせいのがくしゅう」でお伝えしている内容は、本来でしたら入学式後に(小学校の学習の)「スタートカリキュラム」として、授業の中で少しずつ取り組む予定だった学習です。小学校の学習の土台となる学びの期間ですので、家庭生活や園生活と重なる部分がたくさんあります。1つ1つ着実にできるようになってほしいと思います。また、平仮名の練習教材が届きましたので、今週末位までにご自宅にお届けします。南台小学校の封筒に入れてポストに投函します。お子さんによって到着までの時間に差が生じると思いますが、ご了承ください。

## 配布予定の教材

- ①「1ねんせいのがくしゅう」(プリント集)画用紙刷りのはさみを使って学習するシートも4枚あります。
- ②音読カード・音読集「こえにだしてよもう」(詩やわらべ唄、ことわざなどが書いてあります。水色の上質紙)
- ③「ひらがなのがくしゅう」取り組む文字が裏表紙に書いてあります。先に進んでしまわないようにご注意ください。

## こくご②

### なんていおうかな

(「こくご」の教科書、18・19ページ)登校した時、誰かが転んだ時、遊びに入りたい時、体の具合が悪い時、誰かに何かを貸してほしい時、授業中にみんなの前で発表する時等々、日常生活の様々な場面で、自分の伝えたいことを伝えるためにどのように話したらよいのか学ぶ学習です。応用編として、家庭での生活の様々な場面で、どのように伝えたら相手に伝わるのか、生活の中で少しずつ考えてみてください。



### 自己紹介をしよう

学校が再開しましたら、各クラスで自己紹介をして、それぞれのお友達のことをたくさん知っていきたくと思います。家で、自己紹介の練習をしてみてください。「1年〇組〇〇〇〇(名前)です。好きな食べ物は〇〇です。」短い自己紹介から始めてみてください。

好きな食べ物、遊び、スポーツ、歌等々自分のお気に入りの友達に伝えることで、また一歩、心の距離が縮まります。



### 音読をしよう

今週末位までに、各ご家庭に教材を配ります。「音読カード」も配布を予定しています。まだ、国語の授業が始まっていませんので、声に出して読みたいものを何回か音読し、音読カードに記入をお願いします。学校のホームページに音読カードを掲載しますので、3枚目以降は、そちらをプリントアウトしてお使いください。1枚目は台紙にぴったりと貼り付けます。2枚目以降は、めくったら1枚目が見られるように上辺のみをのり付けしてください。1年間使いますので、しっかりと液体のりで貼り付けてください。スティックタイプののりや、セロハンテープなどは日数が経過するとはがれてしまいますので、使わないでください。

音読集「こえにだしてよもう」もあわせて配布する予定です。詩やわらべ唄などを掲載しました。言葉のリズムの楽しさや美しさに触れながら取り組んでみてください。また、音楽の課題として触れた「どんなうたがあるかな」の中の歌を歌って音読として記入しても構いません。他にも校歌や中野区歌などでも大丈夫です。音読カードを活用しながら、言葉に親しんでいってください。

# さんすう

1年生の4月は、算数の学習の基礎となる時期です。今できる課題をお知らせしますので、繰り返し行わせてください。数を数えたり、数に親しんだりする経験をふんだんにさせていただき、数感覚を耕していただければと思います。足し算ひき算は、例年6月以降に学習します。そちらはまだ取り組まず、とにかく数感覚を耕していただければ、秋以降に行う繰り上がり繰り下がりのある計算でもつまずきません。また、学校再開の時期が変化したら、新たに課題をお知らせします。

## たいるかな 【1対1対応】

人の数と傘の数、家族の数とお茶碗の数などの多少を1つ1つ対応させながら比べます。

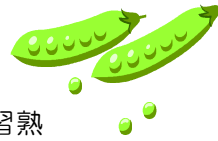
お茶碗の数は動かせるので、それぞれに手渡してぴったりかどうか、比べることができます。(直接対応)

絵に描いてある物など、動かさない物は線で結んだりして比べることができます。また、絵の上におはじきなどを1つずつ乗せ、おはじきを移動させて、1つずつ対応させどちが多いか、どちらのおはじきが余るか、少ないかで数を比較することができます。1対1対応では、それぞれの数を数えることなく数を比較することができることの良さに気付いてほしいと思います。

## 数えてみよう 【数の構成】

家の中にあるいろいろな物を数を唱えながら数えてみてください。物だけでなく、家族がたたく拍手の数や、家の中を歩いた歩数、湯船につかる時間、階段の数(上りながら、下りながら数える)など、唱えた数と物の数が、徐々にぴったりとあうようになっていきます。さらに学習が深まると、5くらいの数の物を見て、数えなくてもわかるようになります。

そのくらい数えることを習熟して行ってほしいと思います。



## 比べてみよう

豆、お箸、ジュース、積み木、ご飯花など、いろいろなものを比べてみて**多い⇔少ない**。**大きい⇔小さい**。**高い⇔低い**。などをご家族で話し合ってみてください。「餃子が〇個あるよ。」「傘が〇本あるよ。」「お兄ちゃんの背はぼくよりも高いなあ。」など、生活の中に算数の学びがたくさん隠れています。ぜひ見つけてください。



## 分けてみよう、合わせてみよう 【数の分解と合成】

### 【分けてみよう】 …数の分解

家の中にあるいろいろな物を数を唱えながら数え、それを分けてみてください。例えば、6個のチョコレートを兄弟と分けると、「3個と3個」になったり、「1個と5個」になったりします。分けることで「6」が「2」と「4」になったりします。

### 【合わせてみよう】 …数の合成

4個と3個の豆を合わせ、数えてみると豆が7個になります。「4と3で7」になることがわかります。手を使うと「2と3で5」「4と1で5」「5と5で10」など様々な数を合わせることができます。

数の分解も合成も、これからの算数の学習の中でとても大事です。学校では、算数ブロック(おはじきのような物)やおはじきなどを使って、手で操作させながら学習させる予定でした。ぜひご家庭でいろいろな物を数え、分けたり合わせたりしてみてください



## 数字をなぞろう

数字をなぞるプリントの課題を出しています。平仮名のなぞり同様、線をよく見てなぞるように声かけをお願いします。

縦の中心線、横の中心線を見ながら、どの辺りに書くのかなぞりながらしっかりと見当をつけてかけるように、少しずつ習得して行ってほしいと思います。特に4・5・7・8・9の書き方は教科書を見ながら正しい形で覚えてください。本来でしたら、

学校で、数を具体的に操作する活動をしながらい進めたい学習ですが、現在の状況を踏まえ、なぞる学習として出させていただきました。



# せいかつか

## いろいろな場所の使い方

### くつ箱

…靴を揃え、片手で持って片付けます。かかとの部分を、下駄箱の端に合わせると、全員の靴がきれいに揃います。靴を履く時には、靴を持ってくつ箱から少し離れたところに移動し、くつ箱付近が混まないように気を付けて履き替えます。

### トイレ

…座る位置、立つ位置など、みんなが気持ちよくトイレを使うために気を付けることを、家族で話し合ってください。

### 水道

…蛇口をひねって水を出します。学校では水を飲む時には、蛇口を上に向けて水の量を調節しながら適量を出して飲みます。飲み終わってから蛇口を下に向けないと、たまったままの水が不衛生ですので、必ず蛇口を下に向けてるように伝えてください。

### 廊下

…右側を静かに歩きます。歩く時の約束「は・さ・み」**「は」**→走らない。**「さ」**→さわがない。**「み」**→右側を歩く。を守って歩きます。

### 階段

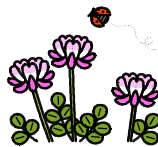
…右側を静かに歩きます。一段ずつ上り下りします。階段でふざけると大変危険なので、階段の歩行に集中します。

学校が再開したら、学校の中の探検をしてどんなお部屋があり、どんな教職員がいるのか学びます。また、職員室や自分以外の教室に入る時のあいさつの仕方（「失礼します。1年〇組の〇〇です。△△先生はいらっしゃいますか。」等。）を学ぶ予定です。



## 春を探そう

本来でしたら、校庭で春の空気を感じながら、春の生き物探しをしたいのですが、今年はそれが叶いません。生活科の教科書の巻末の「ポケットずかん」の2・3ページを見て、春に見られる生き物の様子や名前に触れてほしいと思います。また、「ちょうちょ」や「ひらいたひらいた」等、春の歌もたくさんありますので、ご家族で楽しんでみてください。



## 毎日の生活

### 傘立て

…傘を開く練習、閉じる練習や巻き紐で傘をまとめる練習をしておいてください。

### 名札（安全ピン）

…針の先に気を付けながら、自分で取り外しができるとよいと思います。はじめは、ハンカチなどにつける練習をすると、手元が見えてつけやすいです。必ず座ってつける、立ち止まってつけることも身に付けてほしいことです。

### うがい

…クチュクチュウがい、ガラガラうがい、少しずつどちらもできるようになっていってほしいと思います。

### 手洗い

…上手にできるように練習しましょう。厚生労働省のホームページに「正しい手の洗い方」が載っていますので、そちらを参考にしてください。

### 給食の食べ方

…ランチョンマットをテーブルに敷き、給食をお盆で運んで食べます。お盆はまっすぐ両手で持ちます。片手だけで持つとバランスを崩し、お椀がスーッと滑り、床に落ちてしまいます。食べ終わった後はランチョンマットをきちんと畳み、給食袋に入れます。

### 給食を分ける

…**ご飯をよそう**→しゃもじの持ち方、お椀の持ち方。ご飯に触れずに上手に分けてみましょう。  
…**おかずを配る**→おたまの持ち方やトングの使い方に慣れる。

**【大切】**よそう時に、自分の手に触れてしまった食べ物、お皿に絶対に入れないようにしましょう。

# おんがく

## どんなうたがあるかな

音楽の教科書2・3ページの見開きページに写真や絵が載っています。その中から動物や花、ものを見つけ歌を歌っていきます。教科書の64～65ページに歌詞が載っています。ご活用ください。歌を覚えることが目的ではなく、歌に親しみ、歌を楽しむことがねらいです。学校が休業となり、寂しい思いをする毎日かと思いますが、音楽を愛する心があればきっと心が明るく照らされます。周囲の人との間隔をしっかりと開け、換気をし、飛沫等の飛散に気を付けながら楽しんでみてください。

- 「ばすごっこ」作詞：香山美子／作曲：湯山 昭
- 「やぎさんゆうびん」作詞：まど・みちお／作曲：團伊玖磨
- 「めだかのがっこう」作詞：茶木 滋／作曲：中田喜直
- 「かえるのがっしょう」作詞：岡本敏明／ドイツ曲
- 「こいのぼり」作詞：近藤宮子／「エホンショウカ」より
- 「ことりのうた」作詞：与田準一／作曲：芥川也寸志
- 「いぬのおまわりさん」作詞：佐藤義美／作曲：大中 恩
- 「ちょうちょう」作詞者不明／ドイツ民謡
- 「ちゅうりっぷ」作詞：近藤宮子、日本教育音楽協会／作曲：井上武士
- 「おつかいありさん」作詞：関根栄一／作曲：團伊玖磨



## 南台小学校校歌「進め！南台小学校」

入学式の日配布した「うたはともだち」の本の最初のページに南台小学校の校歌の旋律と歌詞が載っています。南台小学校のホームページの「学校概要」のなかに校歌の音源をアップしました。聞きながら練習をしてみてください。



## 鍵盤ハーモニカ

学校再開後、購入に関するお知らせを配ります。



学校が再開しましたら、鍵盤ハーモニカの購入のお知らせをしますので、希望者は、その際に鍵盤ハーモニカをご購入ください。学習のルールがしっかりできた時期に指導を始めますので、前もって練習することはありません。音をよく聴き、音を楽しむことが、今、身に付けてほしい力です。

# ずがこうさく

## 絵を描こう

クレヨンやパス、鉛筆や色鉛筆を使って、絵を描いてみましょう。チラシの裏やカラーのルーの箱を開いた中、小さい紙や大きい紙、いろいろな物に絵を描いてみましょう。描いた絵の説明を誰かにしてみると、より楽しいと思います。

### 【クレヨンやパスの使い方】

教科書の50・51ページに載っています。短くなったら、巻紙を少しずつ、必要なだけむいて使います。むきすぎると手が汚れ、紙が汚れたり、色が鮮明でなくなってしまうことがあります。また、先の方が汚れたら、ティッシュペーパーなどで拭くと、いつもきれいに使えます。

また、それぞれの色の場所を覚え、いつもその並べ方でしまうことで、箱の側面に着いた色がクレヨンに付いてしまうことが防げます。

### 魚を描こう

…魚を描き、さらに目をつけてあげます。自由に絵を描いて楽しむことが基本です。時々塗り方のテクニックも習得してほしいと思います。

#### ①まずは魚を描く。



#### ②次に目を描いたりうろこを描いたりする。

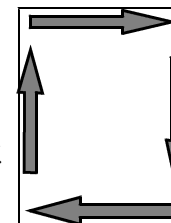


先に魚の目を描き、その周りに色をつけていくと、色が混ざって汚れてしまうことが多いです。魚を描いて遊ぶうちに、より綺麗に仕上げるための、描く順番によりよい順番があることに気付くことができます。表現活動は各自の自由な活動ですが、何よりもその子の表現を尊重していくことが重要ですが、よりよい方法については、ヒントを知らせながら遊びの中で自然に身に付けてほしいと思います。

## のりで貼ろう ～のりの使い方～

教科書の54ページにのりの使い方が載っています。そちらも参考にしながら、紙と紙をのりで貼り付けてみてください。何の紙でも構いません。

- ★まずは、のりの蓋の開け閉めに慣れておいてください。液体のりは、中栓があります。保護者の方が中栓を取って捨ててください。
- ★紙を持つ指、のりをつける指を決めておき、紙が汚れないようにします。
- ★紙の下に新聞紙などを敷き、机が汚れないようにします。また、下に紙が敷いてあると、安心して紙の端までのりを塗ることができます
- ★500円玉大の丸い紙にのりを塗る時には、全体にのりをつけますが、例えば、ノートにはがき位の大きさの物を貼る時などは、全体にはのりはつけず、はがきの4辺をなぞるように四角にのりを塗ります。初期の段階では、子供たちはそれが難しいようです。ご指導いただければありがたいです。
- ★「やってみる」なかで、のりの適量にも徐々に自分で気付いていってほしいと思います。塗りすぎた時には、拭い取ったり、洗濯物のように干して乾かししたり、自分で考えられるようにもなってほしいです。



## はさみで切ろう ～はさみの使い方～

教科書の52・53ページにはさみの使い方が載っています。そちらも参考にしながら、紙をはさみで切ってみてください。何の紙でも構いません。

- ★はさみの安全な使い方→はさみを振り回したり、友達に刃を向けたりしない。必ず座って切る。
  - はさみを渡す時には柄の方を相手に向けて渡す。
  - はさみが進む方向に自分の手を置かない。(初期の頃は、切ることに一生懸命で刃の先の辺りで紙を握っていて、自分の手を傷つけるお子さんもよく見られます。)
- ★安全な使い方をマスターしたら・・・  
いろいろな切り方を試してみましょう。互い違いに・リンゴの皮むきのように回しながら・紙コップを・紙パックを等教科書に例が載っています。紙パックの硬い部分など、難しい部分は保護者の方に頼むということも、徐々に自分で考えてできるようになってほしいと思います。また、子供たちの持っているはさみは、紙を切るためのはさみです。硬いプラスチックや厚い紙などを切ることは危ないことにも気付いていってほしいと思います。(裁ちばさみ、糸切りばさみ、園芸用剪定ばさみ等、切る物によって様々なはさみがあることを知ってほしいと思います。)まずは、1年生は紙を切るはさみの使い方に慣れます。



## 粘土で作ろう

**(まずは、きれいに手を洗います！)**

子供たちは手を使うことが大好きです。手をふんだんに使うことで心身が健全に育っていきます。入学式の日にお渡しした粘土で、自由に表現をさせてあげてください。このような状況ですので、手をしっかり洗ってから粘土遊びを始めてください。ご家庭に粘土板がないと思いますので、机にビニールを敷いたり各ご家庭でやりやすい方法で準備をして取り組ませてください。「これが動物のお家で・・・」「これはおいしいハンバーグなんだ・・・」日々、ニュース等でも子供たちにとっても緊張感が伝わるような出来事ばかり流れてきますが、お話をしながらのびのびと粘土に触れることで、子供たちの心もすうっとほぐれていくことと思います。**(終わった後も、きれいに手を洗います！)**



# たいいく

入学当初の体育の学習では、学校の固定遊具の遊び方を考えたり、1列や2列で並び練習「並びっこ」をしたり、かけっこやおにごっこをする予定でした。また学校が再開したら、みんなで楽しみたいと思います。外に出られない日が続きますが、私たち大人も子供も体力がキープできるように生活することを目指していきたいと思います。体を動かす際には、体調を十分に考慮しながら無理なく進めてください。一度にたくさんの運動量ではなく、少しずつでも毎日続けることが大切です。

## 体を動かそう

**くま歩き**→両手両足を床につけます。膝はしっかりと上げ、そのまま部屋の中をノッシノッシと歩きます。前に進んでみたり、後に進んでみたり、家族の「くま」に出会ったらじゃんけんをしてみたりと、様々にアレンジしてお楽しみください。相撲のように相手と向き合って、相手の手や足を先に踏んだりしても面白いです。

**ゆりかご**→体育座り（三角座り？）をして、背骨を丸めてダンゴムシのようにコロコロと揺れます。

**焼き芋ゴロゴロ**→体をまっすぐに伸ばして床に寝転び、カーブしないようにまっすぐに転がっていきます。両手も上げ体をまっすぐにすることがポイントです。

**楽しく踊ろう**→知っているダンスなどを一曲踊っただけでも、汗をかきます。「パプリカ」等のダンスもインターネットの動画にあげられていますし、ご家族の方がご存じのダンスや、ご出身の地方の民謡でもよいと思います。適度に体を動かして、心身ともにリフレッシュさせてください。

**ラジオ体操**→ご家族の方もご存じの方が多いと思います。また、テレビ等で放映もされていますので、見本を見ながら体を動かしてみてください。1日1回、少しずつ取り組むには最適です。

**縄跳び**→縄跳びをするスペースがあれば取り組んでみてください。まだ、跳べない場合も縄を床に置き、跳び越してみてください。縄をくぐることも楽しい遊びです。いろいろな遊び方を見つけてください。また、秋以降に縄跳びに取り組みます。その際にまたお伝えしますが、縄跳びが結べるようになるとうよいと思います。練習してみてください。

縄の結び方

- ①まずまっすぐに伸ばす。（ねじれを取る）
- ②半分に折る。
- ③もう一度半分に折る
- ④③の長さの状態の物を一度結ぶ。

